



近江の宝 ぬりえシリーズ

# 山法師強訴図 (やまほうし ごうそず)

～日本史で有名な“あの場面”を描いてみよう!!～

琵琶湖文化館の所蔵作品が「ぬりえ」になりました！



## いろんな顔がオモシロイ!?

山法師強訴図屏風には、山法師（武装した僧侶・僧兵）たちが、神さまの威光をかざして神輿をかつぎ、朝廷や幕府に無理やり訴えを通そうとする「強訴」の場面が描かれています。警護する武士らと対峙する緊迫したシーン…のはずが、よく見ると法師たちのお顔はとってもユーモラス(^\_^)♡。いろんな顔を楽しく描いてみましょう！



[ 令和3年(2021年)滋賀県立琵琶湖文化館は開館60周年を迎えます ]

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 滋賀県立琵琶湖文化館

山法師とは、比叡山の武装した僧侶（僧兵）のことです。彼らが日吉社の神輿をかついで京都に乱入りし、神威を背景にして朝廷や幕府に無理やり訴えを通そうとする「強訴」は、たいへん恐れられました。強大な権力をを持つ白河法皇が、朕（自分）の意のままならぬものとして「賀茂川の水、双六の賽、山法師」の三不如意を挙げたという有名なエピソードがありますが、実際の画題として描かれることは珍しく、本図は貴重な絵画資料として、教科書などに掲載されることが多い作品です。



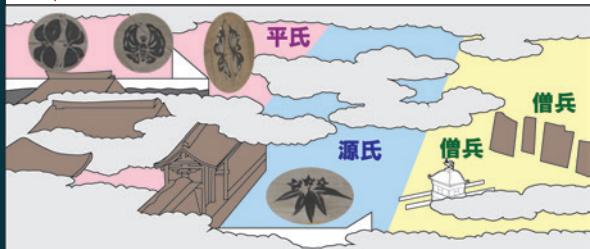
ぬりえ  
チャレンジ



(部分図)

山法師強訴図屏風(全図)  
江戸時代・琵琶湖文化館蔵

▶家紋に注目してみるのも  
ちょっとオモシロイ見方です  
▼



琵琶湖文化館のウェブサイトでも拡大画像を見ることができます。



滋賀県立琵琶湖文化館

〒520-0806 大津市打出浜地先

http://www.biwakobunkakan.jp

biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

メールはコチラから！



描いた「ぬりえ」をメールか郵便で送付すると、琵琶湖文化館のウェブサイトで紹介されます。気軽にチャレンジしてみよう！▶